

平成23年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 2-4-7 津波避難路緊急整備モデル事業

【予算反映等改善事項】

津波一時緊急避難所への避難路整備については、想定外の津波に対しても住民の命を守ることを目的として実施しています。

今年度は、市北部については、中田東山地区避難路整備工事を①徳島赤十字病院及び小松島西高等学校等の公共施設を含む平野部で、津波発生時、避難できる高台は日の峰山に限定されていること、②東日本大震災時においても多数の市民が高台へ避難する経路となったこと、③地山が露出している箇所も点在しており、老人・障がい者などの災害時要援護者が避難するには困難な状況であることから、より多くの市民の命を守るため実施しました。

市南部については、赤石山登山道を①高台や高層建築物が少ない近隣の金磯町や赤石町の住民にとって、重要な津波一時緊急避難場所であること、②本避難路整備は、前年度も実施しましたが未整備部分が残っており、災害時要援護者などの住民にとっては、避難が非常に困難な状況であり、これを解消することから、事業化しました。

次年度以降についても、議会より指摘いただいたように、津波避難困難地域解消及び避難困難者ゼロに向けて、国の南海トラフの巨大地震に関する津波高、浸水域、被害想定及び徳島県津波浸水想定を踏まえた上で、補助金も活用し、防災対策を実施していきます。